

中川・綾瀬川の現状と課題(案)

<「中川・綾瀬川河川整備計画の原案」作成のための参考資料>

平成19年 1月
関東地方整備局
江戸川河川事務所

中川・綾瀬川の河川整備計画の原案を策定する際に、事前に関係住民の皆様から河川整備計画に対する意見や利根川水系に関する思いなどを聴かせて頂く公聴会の開催と意見募集を行うこととしています。

本資料は、この公聴会の開催や、意見募集にあたって、関係住民の皆様に関根川・江戸川の現状と課題を知って頂くための参考資料として作成したものです。今後、より分かりやすい説明に努めたいと考えておりますので、意見募集の開始までに本資料の修正等を行う可能性がありますので、ご了承願います。

旧制度(目的:治水、利水)

工
事
実
施
基
本
計
画

内容 ⇒ 基本方針、基本高水、計画高水流量等
主な河川工事の内容



河川審議会(一級水系)

河
川
工
事

新制度(目的:治水、利水、環境)

河
川
整
備
基
本
方
針

内容 ⇒ 基本方針
基本高水、計画高水流量等

河川整備基本方針
の案の作成

河川整備基本方針
の決定・公表

社会資本整備審議会
(一級水系)

意見

- 一 当該水系に係る河川の総合的な保安と利用に関する基本方針
- 二 河川の整備の基本となるべき事項
- イ 基本高水(洪水防衛に関する計画の基本となる洪水をいう。)並びにその河道及び洪水調節ダムへの配分に関する事項
- ロ 主要な地点における計画高水流量に関する事項
- ハ 主要な地点における計画高水位及び計画横断形に係る川幅に関する事項
- ニ 主要な地点における流水の正常な機能を維持するため必要な流量に関する事項

河
川
整
備
計
画

内容 ⇒ 河川整備の目標
河川工事、河川の維持の内容

原案

計画案の決定

計画の決定・公表

意見

意見

意見

学識経験者

住民意見の反映

地方公共団体の長

- 一 河川整備計画の目標に関する事項
- 二 河川の整備の実施に関する事項
- イ 河川工事の目的、種類及び施行の場所並びに当該河川工事の施工により設置される河川管理施設の機能の概要
- ロ 河川の維持の目的、種類及び施行の場所

河
川
工
事、
河
川
の
維
持

利根川水系中川・綾瀬川流域の概要

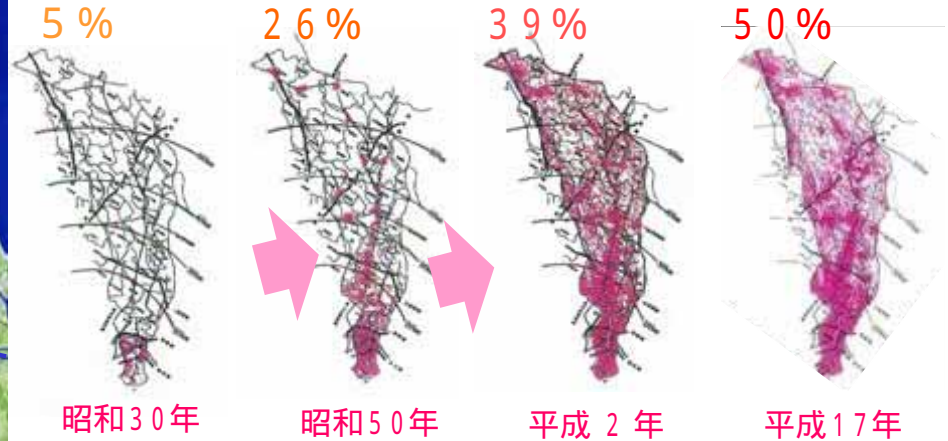
第2回中川・綾瀬川
有識者会議
参考資料 - 3

中川・綾瀬川流域は、洪水が流れにくい低平な地形です。流域の市街化の進展により保水・遊水機能が失われました。

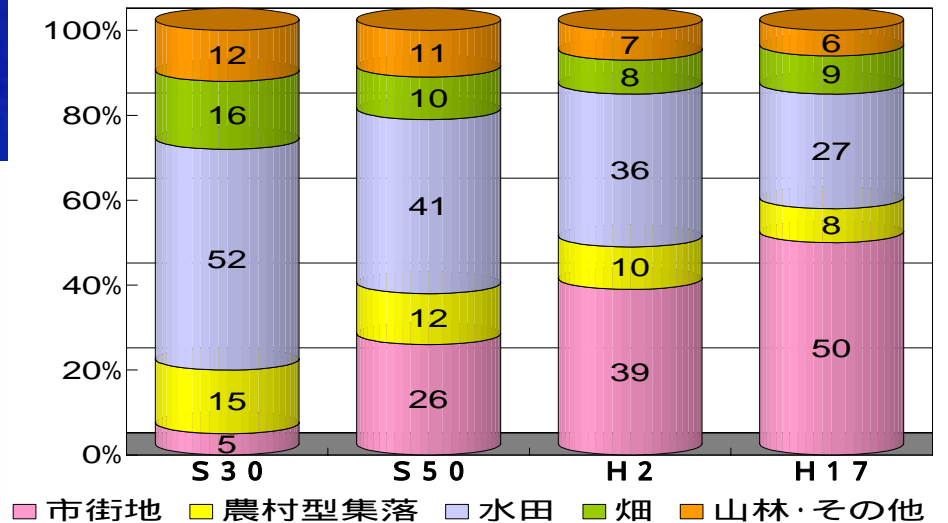
利根川、江戸川、荒川の大川に囲まれています。



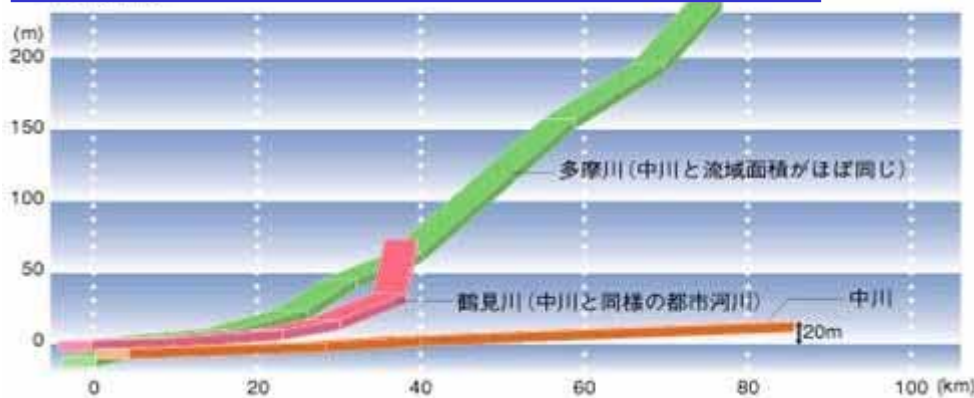
首都東京を抱え、急激に都市化が進行しました。



市街地の拡大により、保水・遊水機能が減少しています。



河床勾配が緩やかで、洪水が流下しにくいことが特徴です。

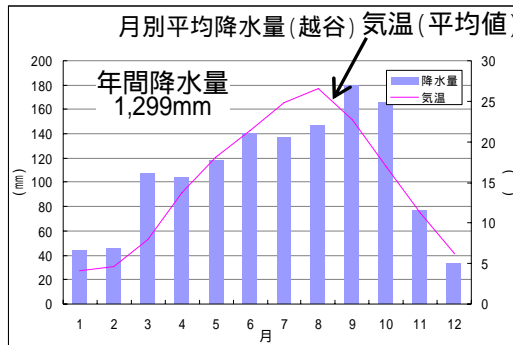
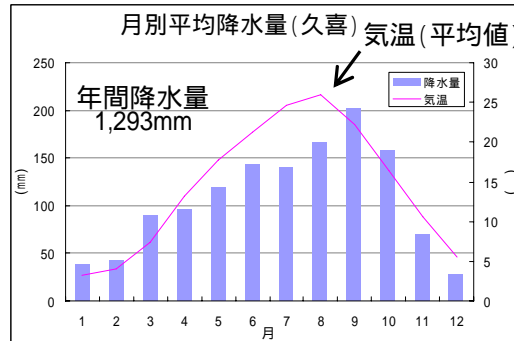
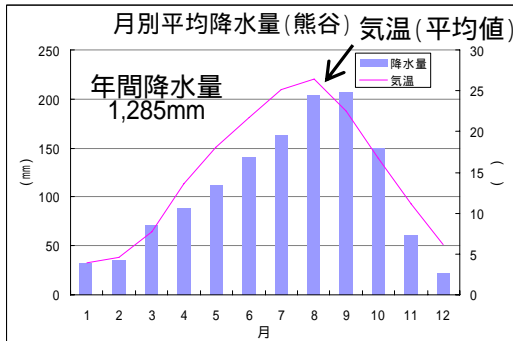


昭和30年代以降の急激な開発により、過去50年間で市街化率が5%から約50%の10倍に激増しています。

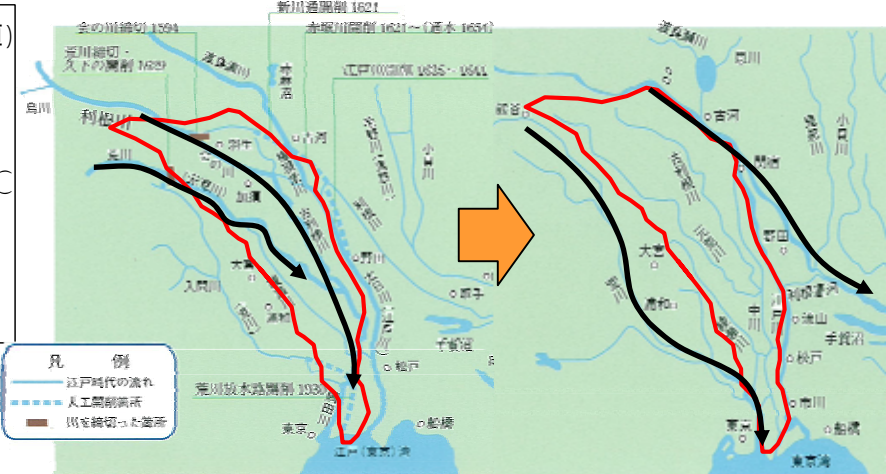
中川・綾瀬川の特徴と課題

第2回中川・綾瀬川
有識者会議
参考資料 - 3

雨は夏に多く、流域で一様に降ることが多いです。



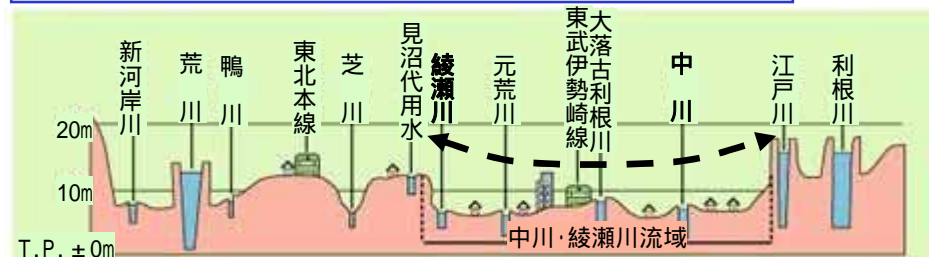
かつては利根川と荒川が流れていた流域であり、氾濫原でした。



江戸時代の川の流れ

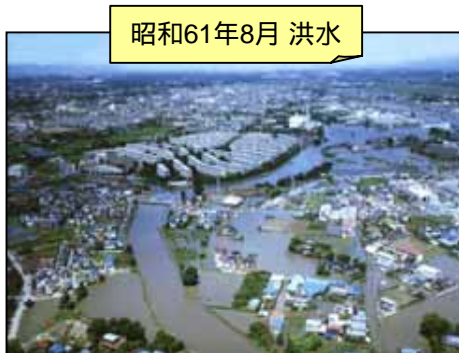
現代の川の流れ

流域は平坦で、お皿のように水が溜まりやすい地形です。



(出典：気象庁アメダス観測データ：S54～H17)

過去には甚大な浸水被害が生じています。



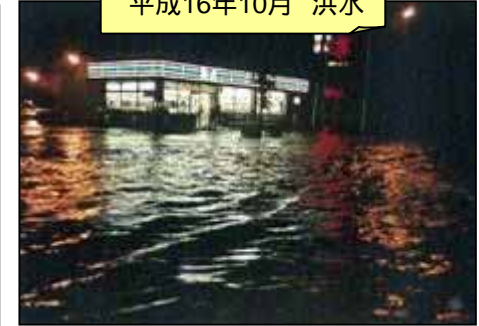
昭和61年8月 洪水



平成3年9月 洪水



平成16年10月 洪水



平成16年10月 洪水

3 埼玉県草加市新栄町団地上空(綾瀬川)

埼玉県草加市栄町

埼玉県さいたま市岩槻区西徳力

埼玉県八潮市中央4丁目

中川・綾瀬川で実施している主な事業(その1)

第2回中川・綾瀬川
有識者会議
参考資料 - 3

低平地を流下する中川・綾瀬川は、流域一体となった総合治水対策を実施しています。

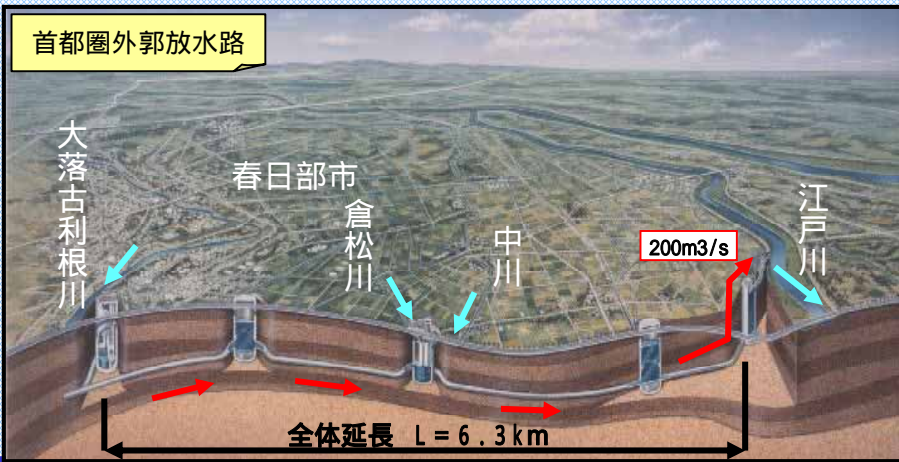
河道整備



堤防整備



主な流域外への排水施設



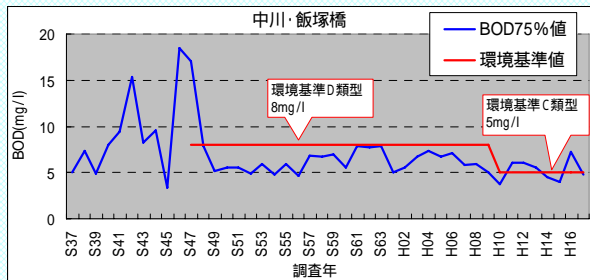
水質

綾瀬川は、全国一級河川の中で、昭和55年から平成6年まで15年連続で最下位。

中川では、改善傾向にあるが安定して環境基準値を満たしていない。

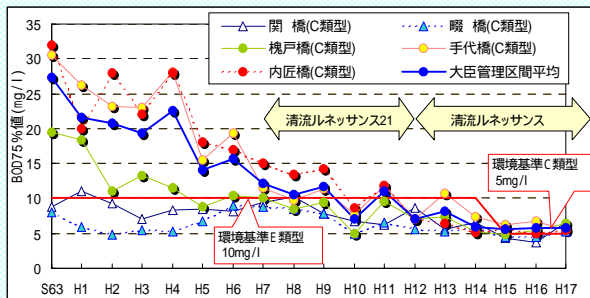
綾瀬川では、清流ルネッサンスの目標値を満たしていない。

また、支川古綾瀬川でも目標値を満たせず、綾瀬川への流出負荷を与えている。



中川の水質経年変化グラフ

改善しつつあるが、ばらつきがあり環境基準値を満たしていない年がある。



綾瀬川の水質経年変化グラフ

改善傾向であるが、清流ルネッサンスの目標値を満たしていない。

自然環境の保全・再生

中川は、右岸上流部で自然堤防が見られる区間がある他は高水敷が少なく、動植物の生育・生息環境が限られているため、自然環境の保全・再生が求められている。

綾瀬川は、矢板等で護岸化された区間が多く、動植物の生育・生息環境が失われているため、自然環境の再生が望まれる。

自然堤防上に残る屋敷林(中川)



コンクリート護岸(中川)



コンクリート護岸(綾瀬川)



人と川とのふれあい

中川・綾瀬川は首都圏における貴重な水と緑のオープンスペースとして、水辺へのアクセス、利用しやすい河川空間、地域の活性化が図れる拠点整備が求められている。

中川は、水面利用が盛んであるが、不法係留船が秩序ある利用上の問題となっている。

水面利用(中川)



船の係留状況(中川)



中川・綾瀬川で実施している主な事業(その2)

第2回中川・綾瀬川
有識者会議
参考資料 - 3

水質

綾瀬川では、全国一級河川における水質ワースト1の脱却をめざし、流域関係機関による下水道の整備、水質浄化施設の整備、河川の清掃活動など地域ぐるみの水質改善対策を実施。

河川直接浄化施設の設置

設置年度	施設名	設置場所	河川名称	浄化容量 (t/d)	設置費用 (万円)	事業主体
平成15年度	桑袋浄化施設	伝右川	伝右川	100	1,000	市
平成16年度	綾瀬川クリーン大作戦	綾瀬川	綾瀬川	100	1,000	市
平成17年度
平成18年度
平成19年度
平成20年度
平成21年度
平成22年度
平成23年度
平成24年度
平成25年度
平成26年度
平成27年度
平成28年度
平成29年度
平成30年度
平成31年度
計				1,000	10,000	



桑袋浄化施設



綾瀬川クリーン大作戦

荒川から綾瀬川・伝右川・毛長川等への導水
全国初の試みとして、地下鉄と協働してトンネル下部に荒川の水を綾瀬川へ導水する水路を整備。(平成15年完成後試験運転中)



綾瀬川・芝川導水路



綾瀬川放流口

自然環境の保全・再生

ミティゲーションの整備

中川では環境保全の取り組みとしてヒヌマイトンボの生息地の拡大整備およびヨシの生育状況調査を実施



生息地拡大整備後のヨシの生育状況



堤防に影響を与えない範囲で高水敷を掘削し、ヒヌマイトンボの新たな生息地を整備する。

ヒヌマイトンボの生息地が拡大した後、河道断面を広げる。

人と川とのふれあい

拠点整備事例(綾瀬川)



親水性のある拠点整備

綾瀬川ピオパーク(綾瀬川)



環境学習や自然体験の場として整備